

# OPAM



東郷青児《手術室》1930年



モイーズ・キスリング《ミモザ》1945年

## 2019 コレクション展 II

# エコパリ

## École de Paris & bamboo



生野徳三《白竹の籠 洋》1990年 半期のみ



生野祥雲齋《白竹投入華籠 行々子》  
1965年 半期のみ

# エコール・ド・パリと竹

2019年 6月7日【金】 — 8月6日【火】

大分県立美術館 3階 コレクション展示室

《前期》2019年6月7日(金)–7月2日(火) 《後期》7月4日(木)–8月6日(火)

●2019年7月3日(水) は展示替えのため休展 ●作品は一部展示替えを行います

# 竹

# 「エコール・ド・パリ」と「竹」。

## 開花する個性、凝縮した技。

時空も技法も異なる二つの芸術(アート)は、パリと大分を舞台に、多くの恵まれた才能(タレント)を世に送り出しました。今回のコレクション展では、エコール・ド・パリを軸に近代絵画の優品を多数ご紹介するとともに、企画展「竹工芸名品展：ニューヨークのアビー・コレクション ーメトロポリタン美術館所蔵」の開催にあわせて大分の竹工芸を特集します。

1920年代のパリには、各国から芸術家たちが集い、カフェや共同アトリエで互いに刺激し合いながら制作に励みました。「エコール・ド・パリ」と呼ばれた時代のこれらの芸術家たちから、**ピカソ**、**藤田嗣治**、**ローランサン**、**キスリング**ら、中心的人物たちの作品を、また、**荻須高徳**、**東郷青児**、**山口長男**ら、パリでの活動を礎に画風を発展させた日本人画家の作品をご紹介します。

時代を超えて、伝統を継承し、新たな価値を創造する大分の竹工芸。別府竹工芸の黎明期に深く関わった**佐藤竹邑齋**、竹芸を芸術の域に発展させた**生野祥雲齋**の他、新旧の作家の名品を一堂にご紹介します。清楚な佇まい、緻密な技、ダイナミックな編組など、ヴァリエーションに富む竹の美の豊かな広がりをご堪能ください。

## エコール・ド・パリと竹

開館時間 | 10:00 - 19:00

※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

観覧料 | 一般300(250)円 **中学生以下は無料**

大学生・高校生 200(150)円

※( )内は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※大分県芸術文化友の会びびKOTO-BUKI・TAKASAGO無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添人(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください

【お問い合わせ】大分県立美術館 Tel:097-533-4500



1

1. モーリス・ユトリロ  
《オルジャン通り》1915年頃
2. ラウル・デュフィ  
《モーツァルト》1941年頃
3. モイーズ・キスリング  
《婦人像》制作年不詳
4. 佐藤竹邑齋《縄六ツ目壺  
手付花籠》大正末期 - 昭和  
初期 半期のみ
5. 宮崎珠太郎《竹花器はば  
たく》1960年 寄託品  
半期のみ



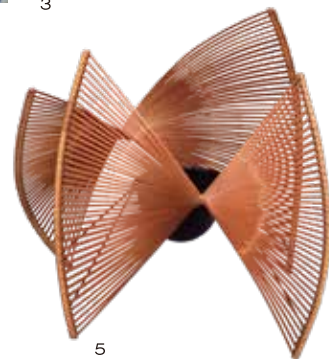
2



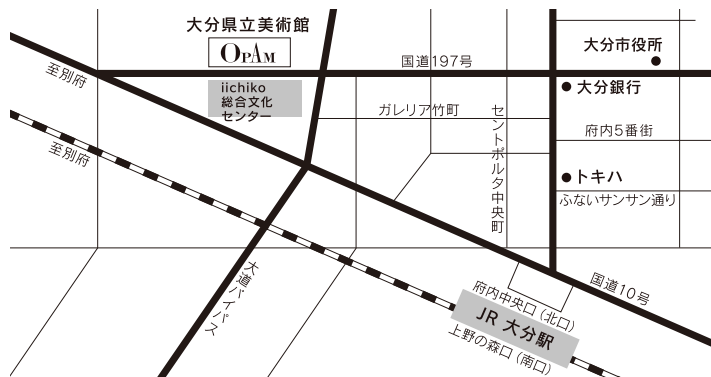
3



4



5



〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL:097-533-4500 FAX:097-533-4567  
http://www.opam.jp JR大分駅 府内中央口(北口)から徒歩15分/大分ICから車で10分

**OpAM** 大分県立美術館  
Oita Prefectural Art Museum

beyond  
2020

### ギャラリートーク

6/16(日)・7/7(日)・21(日)・8/4(日)

《各日》14:00 - 15:00 ※予約不要、要観覧券

### ◎開催中の企画展 / 3階 展示室 B

竹工芸名品展：ニューヨークのアビー・コレクション  
メトロポリタン美術館所蔵

2019年 5月18日[土] - 6月30日[日]

### ◎1階 展示室 A

ムーミン展 THE ART AND THE STORY

2019年 6月29日[土] - 9月1日[日]